

## 事業提案

事業者：株式会社加藤えのき（宮崎市高岡町浦之名4309番地）  
 資本金：3千万円 業種：⑥その他の業種(上記以外) 従業員数：232人

## 事業名：作業能力向上システムによる関東圏市場拡大実現化事業

クラウド

アプリ

IoT



## えのき茸製品の生産数量を明確化するためのデジタル計測器を導入し手作業の効率化を実現する

事業者：株式会社加藤えのき（宮崎市高岡町浦之名4309番地）  
 資本金：3千万円 業種：⑥その他の業種(上記以外) 従業員数：232人

### 【概要】

- えのき茸の生産、製品化、出荷

### 【主な取組】

- 手作業による製品化数量を従業員ごとに正確に把握することで、各個人の生産能力を把握し、個人差のバラツキを解消する助言指導を経て、平均生産数量の増加につなげる。

### 【事業の目標】

#### （定性目標）

- 手作業工程の処理量の数値化により、作業量の個人差を解消し、製造能力向上を図る

#### （定量目標）

- （情報セキュリティ対策(SEcurity ACTION宣言)について)  
令和6年12月までに取得予定
- （労働生産性について)  
1日当たりのえのき茸製品生産数を450袋/日・人から133%増の600袋/日・人にまで向上させる

### 【取組を行う背景】

- 自動化できず、各従業員の処理能力に頼る生産効率を高める必要があった

### 【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

- 生産効率の向上を実現することで、製造コスト減が図られ、関東地区への販路拡大を促進することができ、物価高騰等の当社の重要課題を解決することができる見込みが立った。

製造コスト削減を阻害する手作業工程の存在

各作業員ごとの生産数量を正確に計測する設備を導入、運用する

客観的生産数量を示し専門従業員からの助言指導により生産数量向上を図る

生産量の個人のバラツキが解消され、工場全体としての生産効率が向上する



### 【効果（成果）】

時間当たりの生産数（1人平均）

- 効果① 450袋/時間 ⇒ 540袋/時間
- 効果② 日産処理可能数量 20トﾝ ⇒ 24トﾝ
- 効果③ 各個人の数値が可視化されたことによりスタッフの起立性が向上した。

### 【今後の課題】

- これまで輸送費の問題で積極的に営業することが出来なかったが、この事業により削減した分のコストを運賃にあてて販路拡大に繋げていく。